

# 2024年度 第50回 北海道指定図書 読書感想文コンクール

## 北海道指定図書

●北海道の先生がおすすめる本を読んで、読書感想文を書こう！

北海道学校図書館協会

### 小学校低学年

選定部によるコメント  
メーカーによるコメント(e-honサイトorメーカーサイトより)  
ISBNコード (発行年月)

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>あおをはっけんした<br/>ちいさな ヤン</b><br/>みならい えかきの おはなし</p> <p>ジャン-リュック・アンゲルベール/作<br/>はしづめ ちよこ/訳</p> <p>イマジネーション・プラス 1,870円</p> |   | <p>見習い絵描きのヤンが、初めて作った赤を、先生が絶賛。いろいろな赤を作っているうちに青ができた。1704年のヨーロッパで、このようにして青を作りだせるようになった。</p> <p>ヤンは、有名な画家のアトリエで見習いとして働く小さな少年。将来、立派な絵描きになりたいという夢をもっています。アトリエの1日の仕事が終わったあともひとり残って、画家の先生や年上の見習いたちの技術や仕事を覚える努力をしていました。そんなある日、アトリエに伯爵夫妻が訪れて、絵の注文をします。伯爵夫人のドレスを「最も美しい青色」で描いてほしいと。</p> <p>978-4-909809-50-6 (2023.9)</p>               |
| <p><b>いつか きっと</b></p> <p>アマンダ・ゴーマン/文<br/>クリスチャン・ロビンソン/絵<br/>さくま ゆみこ/訳</p> <p>あすなる書房 1,650円</p>                             |  | <p>現状を変えたいと願う男の子が、周りの人からあきらめや嘆き、悲観の声に疑問をもち、信念と行動で少しずつ周りを変えていく。</p> <p>男の子の信念と友だちの助けが、周りを少しずつ変える力となっていく。孤独、嘆き、あきらめ…それでも希望を捨てずに夢をもつこと。時代を超えた希望のメッセージ絵本。みんなのために今わたしたちにできることを投げかける物語。</p> <p>978-4-7515-3126-6 (2023.10)</p>  |
| <p><b>いえ</b><br/>あるひ せんそうが はじまった</p> <p>カテリナ・ティホゾーラ/作<br/>オレクサンドル・プローダン/絵<br/>すぎもと えみ/訳</p> <p>汐文社 1,870円</p>              |  | <p>幸せな3人家族の家が戦争でなくなって、となりの国まで逃げていくけれど、「記憶の中の家は、君を守るよ」という父親の言葉が希望を灯す。</p> <p>ぼくはこのすてきな家に、パパとママと犬のテレシクと住んでいた。ある日、戦争が始まった… 2022年2月、ロシアがウクライナ侵攻を開始。「いえ」を奪われた大勢のうちの一人、ある少年の物語。</p> <p>978-4-8113-3086-0 (2023.9)</p>   |
| <p><b>そんなことも<br/>しらないの？</b></p> <p>パク・ジョンソプ/作<br/>なかやま よしゆき/訳</p> <p>フレーベル館 1,760円</p>                                     |  | <p>なかよく群れで泳いでいた魚たちは、アンコウが流したウソの情報を信じ、仲間を次々と追い出してしまふ。どうしたらいいのかを考えるきっかけとなる絵本。</p> <p>アンコウが、まるでみんなが知っていることのようにウソの情報を流すと、サカナたちはとまどいながらも、アンコウの話を信じて、仲間を群れから追い出してしまふ。そして…</p> <p>サカナたちは、なぜだまされてしまったのかな？ きみがサカナだったら、どうしただろう？ 情報がホントかウソかわけるためには、どんなことに気をつければいいのか？ サカナたちの会話にクスッと笑いながら、考えてみよう。</p> <p>978-4-577-05184-9 (2023.10)</p> |

### 小学校中学年

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p><b>錦鯉を創る</b><br/>新潟から世界へ</p> <p>松沢 陽士/写真・文</p> <p>小学館 1,430円</p> |  | <p>小学館の図鑑NEOの科学絵本</p> <p>新潟県で誕生した観賞魚「錦鯉」。海外での人気も高まり、輸出されている。錦鯉を育む人の思いやその土地の趣きが伝わってくる本。</p> <p>世界中で愛される、美しい観賞魚を育む人々。泳ぐ芸術とも呼ばれる錦鯉。錦鯉を育み、そして、これまでに誰も見たことがない錦鯉創りに取り組む養鯉場に密着した写真絵本。</p> <p>978-4-09-725220-7 (2023.7)</p> |
|---|--|--|

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>夢への扉を開け！<br/>町田 瑠唯</b></p> <p>ベースボール・マガジン社/編</p> <p>ベースボール・マガジン社 1,980円</p>        |    | <p>新スポーツスーパースター伝 5</p> <p>東京オリンピックで銀メダルを獲得した女子バスケットボール。その時の立役者の一人、町田瑠唯さんは、北海道出身だった。</p> <p>常に挑戦することをやめない女子バスケットボールの町田瑠唯選手。世界の舞台でも活躍するヒロインの歩みを追ってみよう！</p> <p>978-4-583-11568-9 (2023.4)</p>   |
| <p><b>じゅげむの夏</b></p> <p>最上 一平/作<br/>マメ イケダ/絵</p> <p>佼成出版社 1,650円</p>                     |    | <p>仲よし4人組の4年生のぼく達。筋ジストロフィーのかっちゃん願いをかなえたくて冒険に出かけるが…。少年たちの夏の日をみずみずしく描く。</p> <p>4年生の夏休みにやりたいことを宣言した、筋ジストロフィーの親友、かっちゃん。かっちゃんの願いをかなえてあげたくて、ぼくらは綿密に計画をねったのだけれど…。夏のおいが濃く立ちこめる山あいの村で、いのちを謳歌する少年たちの姿をみずみずしく描く。</p> <p>978-4-333-02903-7 (2023.7)</p>  |
| <p><b>小学校高学年</b></p>   |  |  |
| <p><b>ぼくはうそをついた</b></p> <p>西村 すぐり/作<br/>中島 花野/絵</p> <p>ポプラ社 1,650円</p>                   |   | <p>同居するおじいちゃんに戦争で亡くなった兄がいることを聞いたリョウタ。それがきっかけとなりヒロシマの町を歩き、当時の人の想いを感じ取っていく。そんなある日、「ヘロウばあ」というおばあさんと出会って…。</p> <p>同居する祖父から、原爆で亡くなった大おじの話聞いたリョウタ。祖父の話きっかけに、あらためて自分の住むヒロシマの街を歩き、今も消えない原爆の傷と人々の想いについて考えはじめる。いっぽうレイは原爆で息子を亡くしている曾祖母を救いたいと思っていた。男の子に思われたいと、どんどん髪を短くしていくが…。すべての人が幸せに生きられる世界へ、祈りをこめた物語。</p> <p>978-4-591-17821-8 (2023.6)</p>       |
| <p><b>給食が教えてくれたこと</b><br/>「最高の献立」を作る、<br/>ぼくは学校栄養士</p> <p>松丸 奨/著</p> <p>くもん出版 1,540円</p> |  | <p>人は、毎日食べるものでできている。食べることで、人生は変わる。「最高においしい」給食を目指して挑戦を続ける栄養士の、熱血お仕事ノンフィクション！</p> <p>2013年の「全国学校給食甲子園」で男性として初めて優勝し、全国での講演や海外での食育授業など、活躍の場を広げ続ける栄養士・松丸奨氏が、自身の仕事やこれまでの歩みをつづったノンフィクション。</p> <p>978-4-7743-3449-3 (2023.7)</p>   |
| <p><b>図書館がくれた宝物</b></p> <p>ケイト・アルバス/作<br/>櫛田 理絵/訳</p> <p>徳間書店 2,090円</p>                 |  | <p>1940年、ロンドン。12歳のウィリアム、11歳のエドモンド、9歳のアンナの兄弟は、学童疎開に参加する。身よりを亡くした兄妹は、自分達の「家族」を見つけないという思いを持っていたが…。</p> <p>1940年、ドイツとの戦争が始まったばかりの英国で、身寄りのない12歳のウィリアム、11歳のエドモンド、9歳のアンナの兄妹は、学童疎開に参加することになった。田舎は少しは安全だし、ひよっとしたら3人をずっと家に置いてくれる家族が見つかるかもしれない…。疎開先での厳しい日々、3人にとって、村の図書館だけが救いだったが…。ロンドンから疎開した本好きな兄妹の、心あたたまる物語。</p> <p>978-4-19-865665-2 (2023.7)</p> |
| <p><b>中学校</b></p>  |  |  |
| <p><b>あした、弁当を作る</b></p> <p>ひこ・田中/著</p> <p>講談社 1,540円</p>                                 |  | <p>母に触れられることをいやだと感じ、母が作ったお弁当にプレッシャーを感じる中学生・タツキ。両親からの自立を描いた作品。</p> <p>朝。いつものように、母親がぼくの背中に触れる。いつものように「行ってきます」と答えて学校に行けばいい。それなのに寒気がした。昼休み、母親が作ったお弁当を開ける。おかずたちが、「おいしく食べて欲しい」とプレッシャーをかけてきて、一気に食欲が落ちる。でも、これはせつかく母親が作ったお弁当。いったい、ぼくはどうなってしまったのだろう？中学生男子の複雑な自立心をひこ・田中が描く！</p> <p>978-4-06-530595-9 (2023.2)</p>                                   |
| <p><b>夜空にひらく</b></p> <p>いとう みく/著</p> <p>アリス館 1,760円</p>                                  |  | <p>冤罪で罪に問われた円人が補導委託先の煙火店の深見と暮らすなかで、自分と向き合い、被害者家族の複雑な感情を知る。心に残る感動作。</p> <p>アルバイト先で暴力事件を起こし、試験観察処分となった、鳴海円人。補導委託先に選ばれたのは、花火の製造所を営む、深見静一の家だった。人の愛を知らずに育ってきた円人と、ある出来事きっかけに補導委託の受託者となった深見の心のつながりを、力強く爽やかに描く。</p> <p>978-4-7520-1072-2 (2023.8)</p>  |

(税込価格で表示)